



日本共産党文京区議会議員  
**まんだち幹夫** 週刊 通信  
 2010年12月24日号 No.174

**'みなさんをいつもまんやかに、**

区議団控室：5803-1317（直通）  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

区議会清掃・リサイクル特別委員会で戸田市を視察

**多分別で資源化推進。古布から人工芝のマットが、ペットボトルからマイバッグ、そして生ごみは花の苗と交換**

区議会清掃・リサイクル調査特別委員会の一員として16日午前埼玉県戸田市役所とリサイクルセンターへ行政視察に行ってきました。

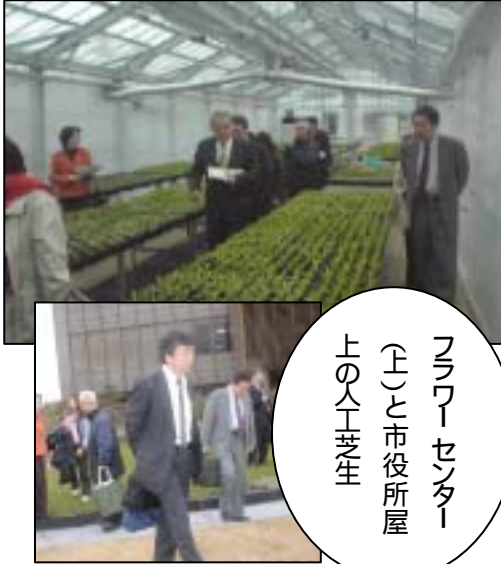
市役所で担当課から市のリサイクル行政の概要を聞きました。17種類に分別して資源化 古布を資源化しフェルトガーデン 紙ひもでの古紙梱包 マイバッグの作成 販売 生ゴミと花の交換 など実に多彩です。家庭から出るごみの40%くらいを占める生ごみを、容器にためてセンターにもって行くと、きれいな花の苗と交換してくれます。もちろん、堆肥は生ごみからつくる、循環され

ています。しかも、センターは障がい者のみなさんの雇用場となっていました。都心の文京区と単純に比較するのは難しいですが、「ごみも捨てなければ商品になる」

「福祉との連携」の姿勢を貫いている点は、見習うことが多いと思います。区もまずは、サーマルリサイクルと云ってごみを燃やすことを推進するのではなく、資源化できるものを増やすこと、また、生ごみのリサイクルは正面から検討すべきでしょう。



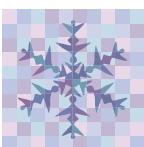
フラワーセンター  
 (上)と市役所屋  
 上の人工芝生



**来年から35人学級の実現を教育にこそ十分な予算化**

小学校1, 2年生から35人学級をすすめる順次高学年へ、中学校も1年生から...。文部科学省が国民と教育関係者の声におされやっと方針化した少人数学級の制度化が、あと一歩です。

しかし、財務相が財政的な側面から、とりあえず小学校1年生のみ来年度実施予定と少し後退しました。自民党政権の時と比べても増えている米軍への「思いやり予算」を見直せば、当初の予定通りすすめることは十分可能です。世論のうごきが決め手になるでしょう。



**まんぢ子日記**

18日 朝から礪川小でのもちつき大会に参加。PTAと「礪川おやじの会」共催で長年続いています。今年はなんと総勢250人余が集まりました。子どもたちは餅つきを体験した後お弁当箱をもって長蛇の列をつくり餅を美味しそうに食べていました。



19日 午後から地域訪問と宣伝アンケートを頂いたみなさんを訪問して要望など聞きました。寒かったためか街頭は人通りが少なかったです。

20日 区議会の研修会。懸案になっている「議会基本条例」を講師から学び、たいへんスッキリしました。